

交通結節点として強化された宇治市南の玄関口



近鉄大久保駅前交通広場の 供用開始にあたって

本市では、安全で快適な生活環境と、災害に強い都市づくりに向けて、道路をはじめとする都市基盤整備を最重要課題として力を注いでおります。

その中で、「近鉄大久保駅前交通広場」は、本市の南の玄関口として、本市のみならず、城陽市、久御山町を結ぶ広域的な交通結節点となる施設として、昭和56年度に都市計画決定をいたしました。

昭和62年度には近鉄大久保駅が立体交差化され、平成8年度には、暫定駅前広場と市営駐車場の整備を行いました。これらの事業により、踏切の遮断による駅周辺の交通渋滞の緩和やバス・タクシー・一般送迎車両等が混在する交通環境の改善を図ってまいりました。

その後、大久保駅周辺地区のまちづくりを更に推進するため、平成16年度から「大久保まちづくりワークショップ」「大久保駅周辺地区整備構想策定委員会」等を立ち上げ、平成18年度には、まちづくりを進めるための指針となります「大久保駅周辺地区整備構想」を策定いたしました。

この中で「近鉄大久保駅前交通広場」を「当面の取り組み方策」と位置付けまして、平成19年度に事業認可を取得し、事業に着手をいたしました。平成22年度には大久保駅周辺の歩行経路の重点的なバリアフリー化を実施し、このたび「近鉄大久保駅前交通広場」が完成したことによりまして、大久保駅周辺は、交通結節機能が強化され、商業・業務施設を中心とした賑わいのある「広域拠点」として、本市の南の玄関口にふさわしい魅力あるまちに成熟していくものと期待をいたしております。

最後に、駅前広場築造にあたり格別のご理解とご協力を賜りました地権者の皆様方をはじめ、地元の皆様並びに関係各位に、心からお礼を申し上げます。

平成24年11月

宇治市長 **久保田 勇**

事業概要

事業名	近鉄大久保駅前広場整備事業
場所	宇治市広野町西裏 地内
事業期間	平成19年度から平成24年度
事業面積	4,200㎡
駅前広場機能	バス乗降場 6バス、タクシー乗降場 2バス
事業費	25億円

近鉄大久保駅前広場について

「近鉄大久保駅前交通広場」の基本方針として、交通施設の安全性・利便性の向上、安全な歩行空間の確保とともに、高質な環境空間の創出を目指しました。

近鉄大久保駅周辺に分散して配置されている市道東裏西裏線や府道城陽宇治線のバス停留所を駅前広場内に集約し、タクシー乗り場と併せて、鉄道やバス・タクシーの乗り換えしやすい駅前広場をつくり、駅利用者の安全性・利便性の向上と駅周辺での交通渋滞をなくすことを目的として、「近鉄大久保駅前交通広場」の整備を行いました。

歩道には、シェルター（屋根）を設置し、近鉄大久保駅からバス停留所まで雨天でも歩きやすい歩行空間を整備しました。

植樹帯には、宇治市産の宇治石を配置し、宇治市の木であるイロハモミジやケヤキ、ヒラドツツジ、オタフクナンテン、コグマザサを植え付け、季節の移り変わりを感じることができるようになっています。



路線バス

乗降場	6バス
待機場	4バス

タクシー

乗車場	1バス
降車場	1バス
待機場	24バス

駅前広場施設

シェルター	170m
防火水槽	1基
車道照明	7基
歩道照明	8基
バス停ベンチ	6基
植栽帯	3箇所

平面図

